

分野	補完的な道路の整備			事業番号	86	事業名	県単道路改築		
市町村名	長野市	ふりがな 箇所名	おがわながのせん (一)小川長野線		ゆやま 湯山	なが 中尾	事業年度 (完了年度は見込み)	H24年度～	H33年度
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路改良工 L=1,000m W=4.0(6.0)m					H23年度末事業進捗率	0%	
	H24年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース	0%	
	H24年度実施内容	道路改良工 L=220m					用地補償費ベース	0%	
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残			
財源内訳	事業費計(千円)	350,000	0	0	20,000	350,000			
	国庫支出金	0	0	0	0	0			
	その他								
	県債	0	0	0	18,000	0			
	一般財源	350,000	0	0	2,000	350,000			
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価		ランク	評点	
	(30)	必要性	計画交通量	4,000台/日以上	1,500台以上～4,000台/日未満	1,500台未満	B	0	
			代替道路	唯一の道路である	代替となる道路がある			5	
			ネットワーク (道路網)	バス路線である		B 駅やICなどに通じる または 役場と交通結節 点や支所などを結ぶ路 線		A及びBに該当しない	5
				ボトルネック箇所		ボトルネック箇所でない			0
		観光地に通じる道路		観光地に通じる道路で はない		0			
		各事業特有の必要性(安全の確保)	4.0m未満又は30m未満 又は8%以上(幅員、半 径、勾配)	4.0m以上5.5m未満(幅 員)	5.5m以上(幅員)			6	
			自動車と自転車・歩行 者との分離を図る	歩道はあるが不十分で あるものを再整備	自動車と自転車・歩行 者との分離がなされてい ない			0	
		他事業との関連	河川改修、新幹線、高 速道などの事業に関連 して実施					0	
	小計					16			
	(10)	重要性	設計上の環境・景観配慮	環境・景観配慮がされ 確実性が高い	環境・景観配慮がされて いるが確実性が低い	環境・景観配慮をしてい ない	A	5	
			地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位 置付けられている	緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪 地域、過疎地域、地震防災対策強化地 域、観光圏整備実施計画認定地域に位 置付けられている	特別な位置づけはない		3	
		小計				8			
	(20)	効率性	費用対効果	B/C(3便益)1.0以上	B/C(3便益)1.0未満 (3便益以外の観点から一 定の効果が得られる)	B/C(3便益)1.0未満	B	0	
			事業効果の早期発現 (H24以降残事業年数)	事業年数 3年以内	事業年数 4年～5年以内	事業年数 6年以上		5	
		コスト削減	全体的に構造物・規格等につ いてコスト削減を実施してい る。	部分的に構造物・規格等につ いてコスト削減を実施してい る。	コスト削減はしていない	7			
		小計				12			
	(20)	緊急性	安全性の向上	交通事故や落石等の危険 箇所の安全を向上させる	交通事故や落石等の危険箇 所指定はないが安全を向上さ せる	交通事故や落石等の危険が ない	B	6	
			各事業特有の緊急性(医療・福祉)	医療・福祉の連携が発揮 できる道路(ネック箇所の 解消)	医療・福祉の連携が発揮 できる道路(円滑化が図れ る)	医療・福祉の連携に関係 ない道路		6	
		小計				12			
(20)	計画	地域からの要望	地域住民の内発的な要 望が強い	市町村からの要望	特に要望がない	A	7		
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知	関係者中心に周知	特に周知していない		5		
	住民参加の状況	住民が計画策定に直接 参加	住民や市町村の意見を 計画策定に反映	特に住民意見は反映し ていない	4				
	小計				16				
費用対効果(B/C)		0.8		評価の合計		B	64		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は七二会地区、小田切地区に点在する集落を結ぶ生活道路となっているが、現道は幅員狭小、線形不良のため乗用車同士のすれ違いが困難な状況であり、生活の支障となっている。							
	地域からの要望経緯	小川長野線改良促進期成同盟会から、毎年要望、現地調査が行われる。							
	事業説明等の経緯	工区毎に事業説明会を実施(平成23年3月に田中東工区、9月に岩草工区、12月に川後工区、松ノ木工区)							
	環境・景観への配慮項目	できるだけコンクリート構造物ではなく、かご枠工や植生工等を用いて環境へ配慮。							
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。							
特記事項	長野市七二会支所、小田切支所と連携し、住民の意見を聞きながら計画策定していきたい。								
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他				
部意見	生活道路としての安全確保を図る。地域からの要望も強いので、平成24年度より着手したい。			政策評価課 意見	拡幅改良の必要性は認められる。				